

第16回 岩手県がんフォーラム

< 概要(案) >

- ◇事業名 第16回 岩手県がんフォーラム
- ◇テーマ 「がん治療に伴う外見の変化に対するケア ～ アピアランスケア ～」
- ◇主催 岩手県、岩手県がん診療連携協議会、岩手日報社
- ◇協力 岩手県内のがん患者・家族会の皆様
【岩手ホスピスの会、盛岡かたくりの会、アイリスの会、北上おでんせの会(家族の会)、がん患者と家族の会 奥州かたくりの会、一関地域の在宅緩和ケアを考える リボンの会、(公社)日本オストミー協会岩手県支部、岩手喉友会、北日本若年性がん患者会 The Bright Future】
- ◇後援 (一社)岩手県医師会、(一社)岩手県歯科医師会、(一社)岩手県薬剤師会、(公社)岩手県看護協会、岩手医科大学、(公財)岩手県対がん協会、(公財)岩手県予防医学協会、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、岩手医科大学医師会
- ◇紙面掲載 2024年1月下旬、2ページ見開き・フルカラーを予定
※フォーラムは12月中旬、無観客で開催。
- ◇内容 【第1部 基調講演】
「がん患者の日常を支えるアピアランスケア」
講師 / 藤間 勝子 氏
(国立がん研究センター中央病院アピアランス支援センター センター長)
座長 / 板持 広明 氏 (岩手医科大学附属病院がんセンター長)
【第2部 パネルディスカッション】
「アピアランスケアに関する岩手県の現状と課題」
座長 / 秋山 有史 氏 (岩手医科大学附属病院がん相談支援センター長)
パネリスト / 三浦 一穂 氏
(岩手医科大学附属病院緩和ケアセンタージェネラルマネージャー)
パネリスト / 澁谷 幸子 氏 (岩手医科大学附属病院化学療法センター 主任看護師)
パネリスト / 玉川 聡子 氏
(岩手医科大学附属病院 医療福祉相談室 ソーシャルワーカー)
パネリスト / 二瓶 哲 氏 (岩手医科大学附属病院 薬剤部 薬剤長)
- ◇その他 岩手日報に掲載された内容を再編集した冊子を作成し、医療施設や患者団体へ配布します。またフォーラムの様子を収録し、紙面掲載に合わせて岩手日報ホームページ上でも動画配信する予定です。

以上